

自然に魅せられて対馬で漁師に

の だ かずのぶ

上対馬町漁業協同組合 野田一伸さん 49歳

漁業暦（定置網漁）1年9ヶ月

国境の島 対馬にて大型定置網に従事されています。

野田さんが乗り込んでいる対馬市上対馬町の定置網は、21569歳の幅広い年齢の方が働いている職場です。以前はマグロ漁船に乗船し、その後20年程はサラリーマンをしていました。しかし、体力が続く限り漁業に従事したいという気持ちが強く、就業者支援フェアのホームページで現在働いている定置網漁の募集を知りました。応募の際に、社長の「コンビニもない町」という言葉が印象的でした。また、寮が完備されており、3食まかない付きのため、安心して生活を送ることができます。

高知県から対馬に移住してきて交通機関の不便を感じることもありましたが、自然が多く、周囲の人が優しいところが魅力です。離島は野菜の値段が高いたが、近所で野菜を作っている人からおすそ分けをもらったりと離島ならではの近所の付き合いもあります。

休みは毎週土曜日、時化の日、お盆、お正月です。普段は、15時くらいで仕事が終わるので料理を作ったり、映画鑑賞など自由な時間とれます。さらに、海水浴場の監視、海浜清掃、地区の金比羅祭り、おっどん祭りの参加など地域との関わりも深いです。



経歴

18歳 マグロ延縄に乗り船

遠洋マグロ漁船に乗り込み、20代で地球10周。

28歳 サラリーマン

高知県で20年ほどサラリーマンとして働く。

48歳 定置網漁に就職

高知から対馬に移り住み、カルチャーショックを感じつつも定置網漁に従事。

野田さんの一日

出航

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

乗港 出荷 休み 網の補修 自由時間

定置網漁

○出港
朝6時に同僚とともに西泊の港を出発。漁場は港から10～15分程度です。
漁場に到着した後は設置してある網を揚げて、中に入っている魚を取揚げた作業になります。

日本記録 第2位 (2010年当時)
約456kgクロマグロ

○帰港・出荷
10時半頃に帰港。港に帰って、箱詰めと出荷作業を行います。定置網漁は、魚群の来遊を待つ受動的な漁業なので、日によって獲れたい獲れなかったりの差が激しい漁業です。大漁のときは昼過ぎまで選別にかかることもあります。
出荷が終わった後はお昼休みになります。

○網の補修
13時頃から、網の補修作業になります。15時頃までには終わるので、その後は料理を作ったり、家で映画鑑賞を行います。

定置網で漁獲される魚種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
定置網漁	スルメイカ		ヒラス・ヨコワ			ヤリイカ・ヨコワ			休漁		ヒラス、サバ	

漁業以外の地域活動の様子

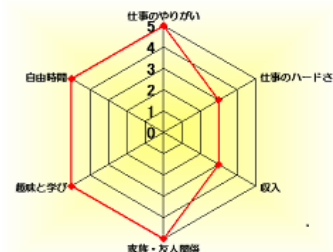
おっどん祭りへの参加
毎年8月に上対馬地区で開催されるお祭りです。



海浜清掃への参加
地域の方々と協力し、きれいな海を守り続けています。



野田さんの本音チャート



これから漁業に就きたい人へ

漁師は体力的に厳しい仕事で、海や魚が好きでなければこの仕事は続きません。漁業就業を考えている方は、頭でいろいろ考える前に、まず漁業の体験を行ってください。大変なことも多いですが、おっどん祭りや金比羅祭りなど地域の行事への積極的な参加など、地域の方々と交流も盛んです。漁業就業を考えている方は、一度対馬に来て、漁業を体験してみてください。